

建設部の方針書

部 名	建設部
部長名	池田智

1. 部の使命(ありたい姿)

「安全・安心で快適な 住み続けられるまちづくり」	
☆暮らしを支える社会基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます ☆社会や自然環境の変動にも柔軟に対応し住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを進めます。	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-1:雪国の快適な暮らしの実現 5-2:快適な移動空間の実現 5-4:地域拠点整備による市街地の活性化 5-6:市民がくつろげる公共空間の整備

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化する既存インフラ施設への計画的な取り組み ○ 人口減少・高齢化社会における持続可能なまちづくりに向けた取り組み ○ 地震や大雪、大雨などの自然災害にも簡単にはくじけない、しなやかなまちづくりに向けた取り組み ○ 住み続けたいくなる住まいと暮らしづくりに向けた取り組み

3. 今年度の『スローガン』

『前へ！ 未来に向けた道すじを示すとき！』 ～住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを目指して～

4. 今年度の方針

<p>(1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理</p> <p>(2) 持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進</p> <p>(3) 住生活対策の促進</p>
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理
	取組内容	◇道路舗装・橋りょう等の長寿命化に向けた、点検・調査・計画更新と適切な補修・修繕・維持管理 ◇幹線道路、生活基盤道路とそれらの付属施設等の整備の促進、補修・修繕の実施、用地等管理 ◇災害を未然に防ぐため、雨水排水対策の促進と、雪対策基本計画の取組推進、次期計画の策定 ◇市に関連するインフラ事業の実現・促進のための各同盟会・要望活動等の強化
(2)	実現したい成果	持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進
	取組内容	◇持続可能なまちづくりに向けた、都市再生整備計画の策定と、都市基盤整備 ◇魅力あるまちづくりに向けた都市基盤整備の推進 ◇活力とうるおいのあるまちなみ形成の推進 ◇再開発組合との連携と部局横断による事業支援
(3)	実現したい成果	住生活対策の促進
	取組内容	◇安全安心で快適な住環境対策の促進 ◇市有建築物の適切な維持管理・営繕工事等の実施 ◇住生活基本計画に基づいた住宅確保要配慮者への入居支援

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理
 - ・橋梁補修、道路改良、舗装補修、雨水対策などの工事・設計委託に関しては、計画的に発注し、順調に進捗中。
 - ・橋りょう長寿命化計画について策定を完了し、公表に向け準備中。舗装の路面性状調査も実施中。
 - ・各種要望活動等については、コロナ渦の中、総会の書面開催や規模の縮小等、工夫を凝らしながら実施。
 - ・第3期横手市総合雪対策基本計画は方針を議会等に提示の上、策定中。
- 持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進
 - ・市の支援の下、再開発組合が設立し、市内業者による特定業務代行者も決定。権利変換計画の策定に着手。
 - ・都市再生整備計画の策定に向けた再開発事業との調整、ソフト事業の検討を実施中。
 - ・公園事業及び依頼工事については計画的に発注し、順調に進捗中。三枚橋地区の住居表示は無事完了。
 - ・コロナ渦の中、東北都市景観協議会は次年度開催。用途地域見直しは、農政局協議が整わず規模を変更予定。
- 住生活対策の促進
 - ・雪国よこて安全安心事業、交付決定57件、木造住宅の耐震診断4件、改修・改築補助3件の申請。
 - ・市営住宅等の改修工事、他課依頼の大型の営繕工事に関しては、計画的に発注し、順調に進捗中。
 - ・指定管理については月1回運営協議会を開催、地方検察庁とマッチングについて意見交換を行った。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理
 - ・引き続き発注・管理の進捗と徹底。跨線橋の耐震補強計画策定に向けて、JRと協議。
 - ・第3期横手市総合雪対策基本計画の策定。除雪管理システムの検証とデータ収集。
- 持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進
 - ・引き続き、再開発組合の支援、県との調整、関係部署との連携を図る。
 - ・都市再生整備計画事業の概算事業費を算出するほか関係機関との協議を進め、計画の策定完了を目指す。
 - ・区画整理事業は換地処分に向けた取組みを進め、公園事業については工事の進捗を図る。
 - ・平鹿病院周辺の用途地域指定、十文字地域の用途地域除外などの見直し作業を進める。
- 住生活対策の促進
 - ・引き続き、雪国よこて安全安心事業の市民へ周知と、耐震診断実施者への改修・改築に向けたフォローアップ。
 - ・市営住宅の用途廃止に向け、対象住宅入居者の住替えについて継続して交渉。
 - ・防災拠点等の改修予算化に向け関係部署と協議。マッチングに向けて地方検察庁との継続協議、物件紹介。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備と維持管理
 - ・橋梁補修、道路改良、舗装工事等については、発注計画に基づき実施し、頻繁に現場確認を行うことで、工事の出来形・品質を確保した。次年度も工事の適正な発注、出来形・品質の確保に努めていく。
 - ・第3期横手市総合雪対策基本計画を策定した。R4年度よりこの計画のアクションプログラムに基づき取組みを進める。
 - ・豪雪時ではあったが、除雪作業システムはスムーズに運用でき、作業情報を収集、事務作業の軽減が図られた。次年度以降も情報を収集するとともに分析を行いながら、効率的な除雪作業に向け検証を進める。
- 持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進
 - ・R3.3.19付けで、再開発事業の権利変換計画が秋田県知事より認可された。5月頃から、組合施行で順次既存建物の解体や再開発ビルの新築工事に着手する
 - ・都市再生整備計画事業は、再開発や大型公共施設など他事業との調整を図るため、繰り越しとした。再開発関連の設計業務や立体駐車場整備に向けた準備を進めており、来年度事業実施する。
 - ・区画整理事業は換地処分に向けた取組みを進め、精力的な交渉により問題案件を減らすことができた。
 - ・用途地域の見直しに向けて、住民との意見交換会等で反対意見がなかったため、R3年度において手続きを進める。
- 住生活対策の促進
 - ・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業:81件、耐震診断:5件、改築:4件の実績となった。引き続き啓蒙活動が必要。
 - ・市営住宅等の改修工事は、長寿命化計画に基づき計画的に発注・工事監理をし予定どおり進捗した。廃止・統合による集約化については、2件の住替えを実施した。今後も継続して交渉し住替えを促す必要がある。
 - ・防災拠点等の耐震診断・耐震改修について引き続きFM個別施設計画検討会議等を活用し、協議を行う必要がある。